

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

グループホーム菜の花 西岡館1階

令和8年3月10日 札幌市送信提出

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間で理念の共有を行っている。申し送り時に理念唱和が出来る。入居者様らしさを生かして生活するスタイルを継続して行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議などで町内会を始め近隣施設やご家族との交流を定期的に行い、情報共有を行っている。	・2ヶ月に1回運営推進会議を行い、情報共有が出来ている。また、その議事録を参加していないご家族にも分かる様に郵送している。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	構成員、ご家族にはホームの活動報告、テーマ資料に対する意見、要望等をお聞きし、運営に反映出来るよう努めている。	・一人ずつにお話を聴き、意見・要望等反映に活かしていると思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、札幌市介護保険課へ入居状況の報告を行っている。運営推進会議では地域包括支援センターのご意見や指導を頂きサービスや運営に活かしている。	・入居状況や行政の事故報告等を提出し、事業所の情報を把握して頂いている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束等適正化委員会を3ヶ月に1回以上開催し、また年2回以上の研修を実施し、身体拘束をしてはならない理由やグレーゾーンは全て身体拘束に該当する事を共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・定期的な委員会を開催しており、安易な発想での行動抑制は行われていない。 ・身体拘束等は全く無く、他の入居者にも身体拘束の気配は無い。 ・職員の方々の意識が高いと感じている。 ・ヒヤリハットや事故報告を行っており、身体拘束についてもしっかり考えている事がわかる。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3ヶ月に1回以上虐待防止検討委員会を開催し、また年2回以上の研修を行っている。委員会、研修を通し、虐待チェックシートの記入もしながら、個々で見直してもらっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待の気配等は全く無い。 ・自身の行動の振り返りを実施出来ている。 ・しっかり委員会や研修を取り組まれている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	成年後見制度はユニット内でファイル化し、いつでも調べられるようにしている。現在、ユニット内では、制度を利用している入居者様はいないが、今後ご家族より相談を受けた際には、随時対応出来るよう理解に努めていく。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時、ご家族には心配事や不安、疑問点を残さないよう十分に説明を行っている。入居後も常時、質問や不明点など受付け信頼関係を構築できるよう努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族に電話連絡の際、意見や要望を聴き取り運営に反映させており、運営推進会議の際も意見を頂き、改善や対応策等を法人内において共有し反映させている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者に異変があった時は速やかに電話連絡等を頂いている。 ・対策等もしっかり行えている為、要望を出さなくとも大丈夫だと思っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回法人内における管理者会議にて意見や提案を共有する場が設けられており、また管理者は個人面談やカンファレンスで意見、要望を聞き反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課により個人の能力に応じた処遇を行っている。また介護記録はタブレットを導入し、業務負担軽減が出来るよう整え、職場環境整備に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保が難しい中、質を落とさないケアを心掛け、職員の負担軽減にも努めている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人負担により予算を組み、資格取得や研修参加を進めている。介護福祉士取得における実務者研修への参加、認知症介護基礎研修、初任者研修などの参加を勧めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの質の向上の為、職員のスキルアップを目指し、取り組まれている。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物オーナー主催による地域交流会に参加し、ネットワーク作りを行っている。近隣施設や町内会との繋がりを持つことが出来ている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の思いや意見、要望を聞き、家事など出来ることを職員と一緒にすることで共に生活を楽しんでいる。難しいことにおいても時間を掛け、ゆっくりと行って頂けるよう支援を行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との関係が途切れない様に面会、菜の花新聞などで元気な姿をご家族に見て頂いている。ご家族が運営推進会議参加後、居室で面会して頂いている。	なかなか面会に来ることが出来ないご家族に対し、元気な姿を伝える別の手段を模索してもいいのではないかと。メールサービスなど写真や動画を送るのもいいと思う。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃よりご本人の話を傾聴し、思いを受け止め意向の把握に努めている。また実現に向け検討、介護計画を立案し取り組んでいる。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスで現状のサービス評価、課題点の協議を行っている。また介護計画更新前はご家族からの要望、ご本人の意向を聞き取り、職員間協議し作成を行っている。	多方面からご本人を状態観察し、現状の課題を細部まで掘り下げる事により、豊かな生活に繋げれると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・要望がある時は都度お願いしている。 ・一人一人の個性を尊重し、やりたいことが実現出来る様考えられている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様のサービス実施状況や気づきをケース記録や連絡ノートに記載し、担当職員がアセスメントする事でケアプランの見直しに活かし、質の良いケアを提供できるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の細かな変化を把握し、ご本人やご家族の意向を踏まえ、状況に合わせた手厚いケアが提供されている。 ・職員同士が連携し、情報を共有している。 ・気づきや工夫も積み重ねる事で、プラン作成に活かしている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者様の状況に合わせ通院介助や個別支援を行い、必要に応じ訪問マッサージや訪問歯科をご家族と相談の上、柔軟な支援に努めている。	訪問で来られる他職種の多様化で、健康管理が維持出来ている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族から昔の事や興味、関心がある事を生かし、出来る事や楽しみを継続して行える支援に努めている。	いちご狩りに出掛けたり、夏祭りで近隣施設との交流を行ったが継続して行って行けたらいいと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医は、入居者様とご家族の希望に応じ受けられるようにしている。また、月2回の定期往診時には、日常生活状況や身体的な状態等を報告し、状態変化時には24時間体制で適切な医療を受けられるよう支援している。また、看取り期に関しても、主治医、ご家族、管理者と十分に協議を行い看取り介護指針に則り医療と連携を図り実施している。他科受診においては、必要に応じご家族との相談の上受診を行って頂いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族への確認や病院との連携を図り、電話や訪問により病状、生活動作における回復状況を担当医師、または看護師、相談員から情報を収集。退院後の留意点などケアプランに反映させ速やかに受け入れられるよう努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・病院を始め、ご家族とも密な連携、情報共有を図り、退院後のADL等状態に合わせた対応が行われている。 ・一人一人の病状や治療内容を理解し、プランに反映出来ている。 	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状態良好時から1年に1回終末期の意向確認を行っている。また状態変化に応じ、看取り介護指針に則り主治医、ご家族、管理者と話し合いの場を持ち意向確認、ケア方針を伝えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・終末期の意向確認をチームで共有し取り組んでいる。 ・安心して終末期を迎えられるよう取り組みの継続をして欲しい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時の連絡を速やかに行うための緊急時フローチャートを掲示し周知をしている。しかし職員等しく緊急時における対応を身に付けているとは言い難い。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の火災、地震を想定した避難訓練を行い、経路を確認しているが、災害時に発電機を職員全員(新入職も含む)が作動できるよう訓練を行うなど、定期的に取り上げ意識をしていくことが必要。	人員不足にて研修を行う余裕がない事を理由には出来ない。人員が少ないからこそチームワークを活かし、安全確保が出来る状態に持って行かなければならない。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自然災害が増えつつあり、災害対策が社会的にも向上している。 ・対策や訓練にやり過ぎはないと感じます。今後も引き続き訓練を行って欲しい。 ・限られた人員体制の中で初動対応はどうか行わなければなりません、限界点を定め、地域への協力体制の構築も引き続き検討して欲しい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	長年自立生活が出来ていた入居者が少しずつ出来なくなっていくことに対し、自尊心を傷付けない声掛けや共に何かを行う事、一人では無いことを伝えながら支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・制度や手順の遵守にとどまらず、入居者一人一人の心情に寄り添った質の高いケアを実施している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務優先ではなく、入居者様の関わりをメインとした仕事体制が出来ている。またご本人のペースや意向を聞き希望に沿った支援を行えるよう努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	盛り付け等を行って頂き、見た目や彩りも楽しみながら、美味しく召し上がって頂ける準備を一緒に行っている。食後は食器洗いや食器拭きを職員と行える環境が出来ており力を活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事を通じた生活リハビリテーション、QOL(生活の質)の向上を実践されており、入居者の「出来る事」に着目した前向きな支援姿勢が感じられる。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事はタブレットにて摂取量を確認している。また水分が少ない時は、ご本人の好む飲み物や暖かい物、冷たい物に配慮し提供している。6ヶ月に1回口腔・栄養スクリーニングにて状態を確認している。ミキサー食などその方に合った食事形態を担当看護師と相談し、誤嚥等に気をつけ提供している。当看護師と相談し、誤嚥等に留意し提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の力に応じ、介助を行いながら清潔保持に努めている。6ヶ月に1回の口腔・栄養スクリーニングを実施し確認した上で訪問歯科医への情報提供などに繋げている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医等と連携を図り、継続した対応をお願いしたい。 ・口腔ケアを単なる清潔保持にとどめず、包括的な健康管理として位置付けられていると思う。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄間隔を確認し、トイレへの声掛け促しを行っている。ご本人の羞恥心に配慮した声掛けに留意し介助を行っている。自分で出来る事について時間を掛け見守る支援を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の基準に従って適切に行われていると思います。 ・個別性・羞恥心への配慮・時間を掛けて見守るという姿勢については、人員体制が厳しい中でも入居者様本位を貫く表れでもあると思う。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望に添うタイミングで入浴を行い、日にちの入れ替えがあったとしても最低でも週2回の入浴が出来るよう支援を行っている。入浴毎にお湯を入れ替え、入浴剤などで身体を温める事や香りで入浴を楽しんで頂いている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの就寝ペースに合わせ無理に就寝して頂く事はしておらず、状況に応じ居室で休めるよう声掛けを行っている。眠れない時はリビングでテレビを観て頂いたり、温かい飲み物を提供し、状況に応じ居室へ誘導している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	処方された薬の情報を回覧し、往診記録にも変更等の情報を提示。ご本人の状態と合わせ、服薬後の症状の変化の確認が出来るよう努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・医療職と介護職の連携が機能している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴を活かし、家事支援の役割分担や趣味を生かした室内レクを介護計画に立案し支援を行っている。身体を動かせるレクは喜ばれる為、レクリエーション内容を増やしている。また漢字パズルや数字・ひらがなパズルを行い考えて楽しんで頂くレクリエーションも提供している。また、暖かい時期は、町内を散歩し、気分転換を行っている。	レクリエーションも多様化している為、ネットなどを視聴し、新たなレクを模索する事も考慮して行うと良い。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	暖かい日に職員と町内の散歩に出掛け、たわいもない話しをしながら気分転換をする事が出来た。建物オーナーのいちご農園へ外出し、いちご狩りを楽しむ事が出来た。	気分転換は人員が許す限り、毎日でもいいと思う。出来ない時は、窓を開け空気の入れ換えだけでも違いはある。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お金を持っていないと不安になる入居者様もおられ、ご家族了承のもと少額ではあるがご自分で管理されている入居者様もいる。しかし、買い物等にてお金を使用出来る支援は行っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人やご家族に安心して頂けるよう電話をしたい時に出来るよう支援している。またご家族との関係継続の為、携帯電話が使える入居者様において、使用出来るよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	トイレの場所が分かるよう立体表示をし、掲示を行うことや居室前にご本人の顔写真を掲示するなど認識が出来るよう工夫を行っている。また安		<input checked="" type="radio"/> A. 充分できている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ご利用者の状況、状態に合わせたサインや季節毎で快適に過ごせる空調設備が整っている。

		や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		全に歩行出来るよう、共用空間は手すりを設置しており、居室は転倒防止の為、伝い歩きが出来るよう動線を確保している。扇風機や加湿器、冷房など季節に応じ機器を用い、使用している。全居室冷房の設置をしている。			・認知機能への配慮、安全性の確保を両立させた環境整備を実践されており、「分かる力を活かす」という認知症ケアの基本理念が具体的な工夫に表れている。
--	--	---	--	--	--	--	--

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の意向や思いを普段の何気ない会話から聞き取り、職員都合とならないよう、介護計画に反映し支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴を基に習慣を大切にし、どのような生活を支援出来るかカンファレンスで話し合い決定事項を周知、介護計画に反映し、ケアに結び付け支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療の他、担当看護師による週1回の健康管理を行っている。また毎日のバイタル測定を実施し、ご本人の様子を把握、主治医や看護師に情報提供を行い連携している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご本人の性格や嗜好など状況に配慮された対応が行われている。 ・訪問診療・健康管理・毎日のバイタル測定という三層の管理体制を構築しており、医療看護との連携は非常に充実していると感じる。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室で過ごしたい入居者様には意向に添った生活をして頂いている。時間に捉われず、ご自身のペースで過ごすことが出来るよう支援を行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タンスや布団、テーブルや姿見などご本人が大切にされていた馴染みの物を入居時に持参して頂き、気持ち落ち着く空間を提供している。また、ご家族の写真なども棚に飾り大切に保管されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・わかっていない可能性もあるが、孫や曾孫の写真が貼らせて頂いている。 ・不安なくお過ごしになられている姿が印象的です。 ・「その人らしさ」の実現に直結する優れた実践と評価します。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	買い物支援として近隣のお店へ買い物に行く機会を設けている。また、気分転換に散歩したり、近隣施設の夏祭りに参加させて頂く事が出来た。	人員が少ない中でも買い物支援や祭り行事への参加が良く出来ていると思う。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家事支援や出来る役割を職員が把握し、ご本人に合った支援を行っている。楽しみ事等は職員が一度行い、興味や楽しさが持てるよう働きかけを行い支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	どの話題や行動が生きがいになっているかを見極め、活動場面を多く持てるよう支援することで入居者様の笑顔を引き出している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・本人は何も分からない状況ですが、介護職員の皆さんが適切に対応してくれている。 ・一人一人の「生きがい」を見極め、その人らし生き生きとした時間を創出する姿勢が伺える。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近隣施設の夏祭りに参加したり、法人内他施設の夏祭りに参加したりと外出機会が多く作れて他者と関わりを多く持てた。散歩で近隣住民と挨拶する事も出来ている。	交流の機会を作る努力を行っている。また、それを継続して行う事を今後に期待したい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員や他入居者様との関係性に留意し安心した生活が出来るように努めている。また、一人ひとりが伸び伸びと生活でき、個々に役割を持って生活する事ができ、「笑顔」や「らしさ」を作れるよう努めている。	満室の状態を継続しているのは、皆さんが元気で豊かな生活を送れている証拠だと思います。笑顔の写真やスライドを拝見させて頂き、それが良く分かります。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者一人一人が明るく過ごされている様に面会に訪れる度に感じている。 ・不安なくお過ごしになられている姿が印象的です。 ・入居者様を第一に考え、安心して生活出来る場所の確立が出来ている。 ・理念や取り組みを継続され、さらに支援体制が充実される事を願っている。